

本音の コラム



まったく、ウチの幹部連
中はどうなってんだ！

ウィズコロナ(WC)

株式会社の社員は焦っていた。お客からの問い合わせは殺到する。全国の支店長からの「どうにかしてくれ」の声も止まらない。だが、この期に及んで本社の方針が全然決まらないのである。

まず担当部長のシンチヨーニ西村だ。この人は死んだ魚のような目で何かは言うが、中身は空っぽ。いつも「慎重に判断を」で終わり。もうひとりの担当部長のステルス加藤は、最近めっきり姿を見せない。春先の客船の対応で力尽きたのか。あるいは西村にお株を奪われて、やる気をなくし

さいとう みな子
斎藤 美奈

WC株式会社

たのだろうか。

専務のゴートウー菅に至っては存在自体が迷惑になってきた。支店の悲鳴を無視して新規事業にどこまでも固執し、現場は大混乱である。せめて顧問に頼りたくても、ブレーンのカメレオン尾身は会社にく度して発言がころころ変わる。副社長のミンド麻生はくだらない自社自慢のあげく雲隠れ。そして社長のステイホーム安倍は、形ばかりの出社はしても説明を渋り、総会を開くことすら拒否しているのだ。

独自の宣伝文の作成に励むフリップ小池。珍妙な策で墓穴を掘ったポビドン吉村。支店長の言動にもばらつきが目立ってきた。なぜこんな会社に入社してしまったのだろう。社長の解任要求が急務かと社員は思いはじめている。(文芸評論家)

2020.8.12